

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の⊘ 禁止、⚠ 注意 の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。



⊘ 禁止

- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。変形や火災の原因となる場合がありますので、火気を近づけたり、車の排気ガス等の高熱が直接あたらないようにしてください。また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 事故などの原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、重い物を乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。思わぬ事故につながり、ケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
- 洗浄機での洗浄をおこなう場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してからおこなってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。

ご使用上のご注意


- 塗装済、現場塗装タイプの場合、年に2~3回の水洗いをしてください。
その場合、金属製ブラシや金ペラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。
柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で、水洗いしてください。
- 現場塗装タイプの場合、降雨等で塗面が水分を含むと色ムラが生じることがありますが、乾燥すれば元に戻ります。

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。



安全に関する記号	記号の意味
 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

運搬及び保管

-  **注意** ●本製品は、パネル等に硬質ポリスチレンフォーム材を使用しています。
硬質ポリスチレンフォーム材は、生地の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材は80℃以上になると変形します。
高温の物や火気が無い場所に保管してください。
- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 当社汎用プライマーは、水性です。凍結させないでください。
凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

施工上のご注意

-  **警告** ●本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
-  **注意** ●正しく施工・組付していただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工につきましては、必ず取付説明書にしたがってください。
- できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
- 落としたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
- 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
- パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
- パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください
- 塗装・接着の際、表面に付着しているごみ・土砂・油分等は除去してください。
- 特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。

【PSパネル仕上仕様について】

- 1型、2型の規格PSパネル部材は両面生地の状態で出荷されますが、片面に塗料を塗布できない現場用に、片面塗装済パネル（特注）があります。
- ユニット門袖S-1型は、塗装済仕様のみになります。
- ユニット角門柱は、生地仕様のみになります。
- タイル等の貼り材や現場塗装タイプの仕上げ塗材については、各メーカーの使用上の注意事項も確認してご使用ください。

施工上のご注意

⚠ 注意 【接着剤について】

●接着剤は当社規格品または、当社推奨品を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の接着剤を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。

■硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合

[当社規格品] オプション接着剤セット、貼り物用接着剤セット※

[当社推奨品] (変成シリコーン系接着剤)

コニシ社 MPX-1/コニシ社 エフレックス/セメダイン社 タイルエースPro

■硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合

[当社規格品]貼り物用接着剤セット※

[当社推奨品]セメダイン社 タイルエースPro/ニッタ工業社 EY-21/コニシ社 エフレックス

※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。

※貼り物用接着剤セットは、タイルの貼付けやアクセントパネルの広範囲貼付けにご使用ください。

●石材、タイル等の固定は接着剤による貼付けのみになります。

●石材、タイル等を接着する場合は、接着剤は全面塗布してください。点付け塗布は避けてください。

●接着剤は必ず生地の状態に貼付けてください。汎用プライマーや仕上げ塗材の上に貼付けしないでください。

●接着方法は接着剤の施工説明書等に記載された内容に準じておこなってください。

【コーキング材について】

●コーキング材は、必ず当社規格品または変成シリコーン系ノンブリードタイプを使用してください。

[当社規格品]…コーキング材セット(ライトグレー)

【汎用プライマーについて】

●現場で塗装仕上をする場合は、必ず当社規格品の汎用プライマーを施工してください。

●汎用プライマーは気温5℃以下及び、下地0℃以下での施工を避けてください。

●汎用プライマーは、塗布した状態で長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。

●汎用プライマー無で仕上げ塗材を施工したり、当社規格の汎用プライマー以外を使用しないでください。剥離の原因になります。

●汎用プライマーには特殊骨材が入っています。塗布前によく攪拌し、ローラーで塗布する場合にもその都度よく攪拌してください。塗ムラの原因になります。

擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領で厚みを持たせて均一に塗布してください。薄すぎたりダマにならないようにしてください。

【下地調整材について】

●下地調整材は、当社推奨品または日本建築学会規格(JASS15M-102)既調合軽量セメントモルタル適合品を用いてください。

[当社推奨品] 四国化成工業社 SKカチオンプラスター弾性タイプ

●下地調整材の施工を推奨します。下地調整材の施工により仕上げ塗材の膨れ・割れのリスクを低減できます。

●既調合軽量セメントモルタルを用いる場合は、塗厚5～10mm程度で仕上げ、仕上げ塗材施工前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。

●下地調整材は当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから施工してください。

●下地調整材は平滑に仕上げてください。

●施工方法は下地調整材の施工要領書等に記載された内容に準じておこなってください。

【仕上げ塗材について】

●仕上げ塗材は当社推奨品の水性塗材を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の仕上げ塗材を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。

[当社推奨品] 四国化成工業社 パレットHG/四国化成工業社 パレットクリームHG/

アイカ工業社 ジョリパットアルファ(JP-100)

●PSパネルは断熱性が高いため、仕上げ塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避けるなど、高温にならないための養生を施して塗装をおこなってください。

●部材間に隙間や段差が生じる場合があります。現場塗装仕上の場合、下地調整材またはコーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。

INDEX

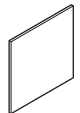

INDEX	1
梱包明細表	1・2
サイズ及び仕様	2
1.施工前の確認	3
2.アクセントパネルの加工及び貼付け	3~5
1.アクセントパネルの加工例	3
2.アクセントパネルの貼付け及びネジ固定(片面・両面1枚貼付けの場合)	3・4
3.アクセントパネルの貼付け及びネジ固定(片面・両面複数枚貼付けの場合)	5
4.アクセントパネルの貼付け(複数枚連続して貼り付ける場合)	5
3.現場塗装仕上げ手順(現場塗装タイプ)	6・7
1.コーキング材の充填(縦目地)	6
2.目地テープの貼付け	6
3.汎用プライマーの塗布	7
4.下地調整材の施工	7
5.仕上げ塗材の施工	7
4.現場貼り仕上げ手順(現場貼りタイプ)	7
5.コンクリートブロックに貼り付ける場合の施工	8・9
1.アクセントパネル貼付け前の注意事項	8
2.アクセントパネルの加工(参考例)	8
3.カット後のアクセントパネルの貼付け方法	9

梱包明細表

■アクセントパネル(+30)(1枚入り) 生地

■アクセントパネル(+30)(3枚入り) 生地

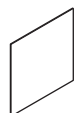

■アクセントパネル(+30)(2枚入り) 生地

名称 部材・部品	略図	員数		
		1枚入り	2枚入り	3枚入り
アクセントパネル(+30)生地	 950×950×30	1	2	3
φ4.1×38ナベ木ネジ		20	40	60
取付説明書		1	1	1


■アクセントパネル(+10)(1枚入り) 生地

■アクセントパネル(+10)(3枚入り) 生地

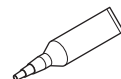
■アクセントパネル(+10)(2枚入り) 生地

名称 部材・部品	略図	員数		
		1枚入り	2枚入り	3枚入り
アクセントパネル(+10)生地	 950×950×10	1	2	3
φ4.1×38ナベ木ネジ		20	40	60
取付説明書		1	1	1

■目地テープセット

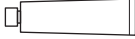
名称 部材・部品	略図	員数
目地テープ	 50mm×45m	1

■コーキング材セット(ライトグレー)

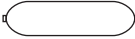
名称 部材・部品	略図	員数
コーキング材(ノンブリードタイプ)	 333ml	1

梱包明細表



■接着剤セット

名称 部材・部品	略図	員数
接着剤	 135ml	1


■貼り物用接着剤セット

名称 部材・部品	略図	員数
貼り物用接着剤	 2kg	1


■汎用プライマー(100ml)・刷毛セット

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(100ml)	 100ml	1
刷毛		1


■汎用プライマーセット(1.5Kg)

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(1.5Kg)	 1.5Kg	1

■汎用プライマーセット(15Kg)

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(15Kg)	 15Kg	1
取付説明書		1

■汎用プライマー用ローラー刷毛(1本入り)

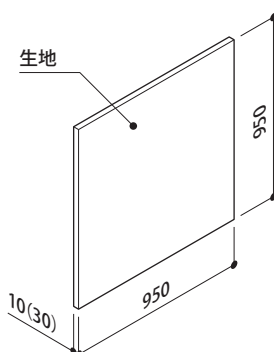
名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー用ローラー刷毛(6インチ)		1

■SKカチオンプラスター弾性タイプ

※ハンドルは付属しません

名称 部材・部品	略図	員数
SKカチオンプラスター弾性タイプ(20Kg)	 20Kg	1

サイズ及び仕様



※必要サイズにカットして本体に貼り付けてください。(P.3参照)
 ※工場カット加工の都合上、カット面の模様や施工に影響しない範囲の寸法誤差があります。

1.施工前の確認

施工前にスマート・Fウォール/端部柱セット同梱の取扱説明書・取付説明書を参照ください。

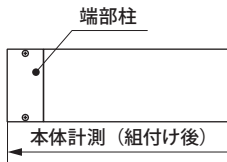
2.アクセントパネルの加工及び貼付け

1.アクセントパネルの加工例

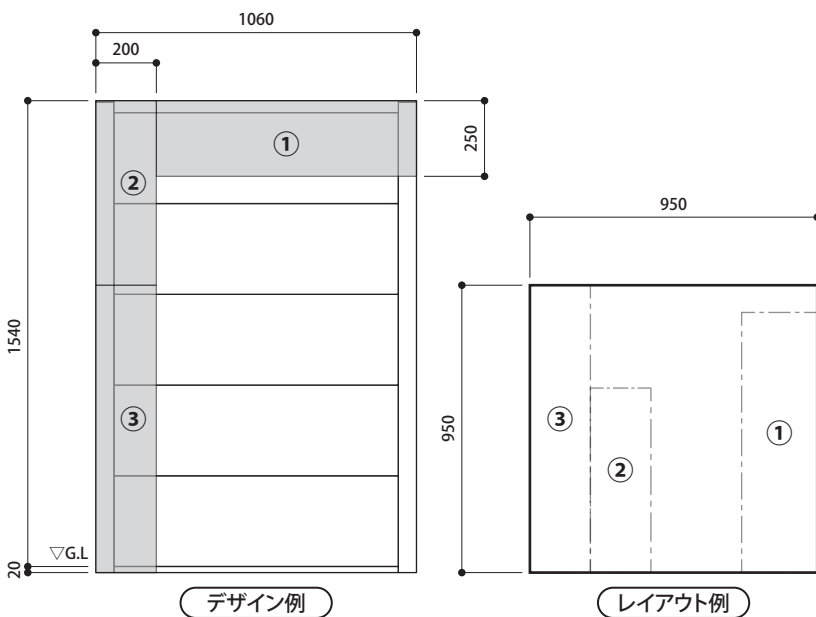
①デザインに合わせてアクセントパネルにレイアウトし、下記方法にてカットしてください。(下図レイアウト例参照)

ご注意

- 必ず、本体組み付け終了後、本体寸法を実測し本体に合わせてアクセントパネルの加工・貼り付けを行ってください。寸法が異なると段差の原因となります。

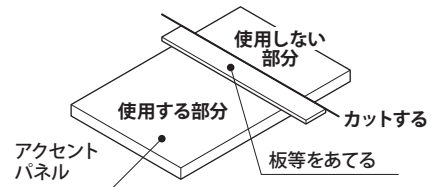


部材名	梱包名称
アクセントパネル(+30)(+10)生地	アクセントパネル(+30)(1枚入り)生地
	アクセントパネル(+30)(2枚入り)生地
	アクセントパネル(+30)(3枚入り)生地
	アクセントパネル(+10)(1枚入り)生地
	アクセントパネル(+10)(2枚入り)生地
	アクセントパネル(+10)(3枚入り)生地

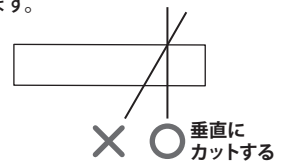


●パネルのカット方法

1.デザインに合わせて寸法を出し、罫書き線を引き、板等をあてて丸のこ等でカットしてください。



2.真っ直ぐ垂直にカットしてください。本体パネルとの接合において、隙間ができたりしてうまく接着できない場合があります。



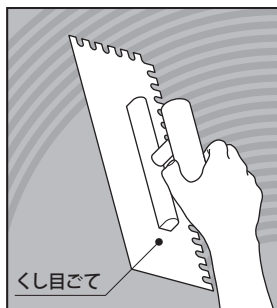
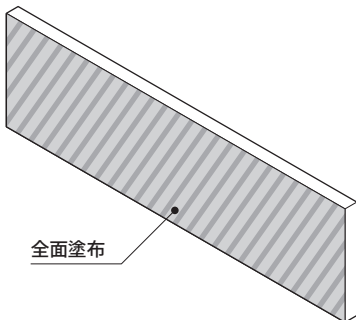
アクセントパネルは、本体に片面・両面及び、重ね貼り (P.5参照) 可能です。

2.アクセントパネルの貼付け及びネジ固定 (片面・両面1枚貼付けの場合)

①スマート・Fウォール本体にアクセントパネルを貼り付ける場合、下記を参照して全面塗布で貼り付けてください。接着剤は当社規格品「貼り物用接着剤」または当社推奨品を使用し、くし目ごてを用いて全面に塗布してください。

部材名	梱包名称
貼り物用接着剤	貼り物用接着剤セット

- 当社規格品：貼り物用接着剤
- 当社推奨品：セメダイン社 タイルエースPro/コニシ社 MPX-1/コニシ社 エフレックス



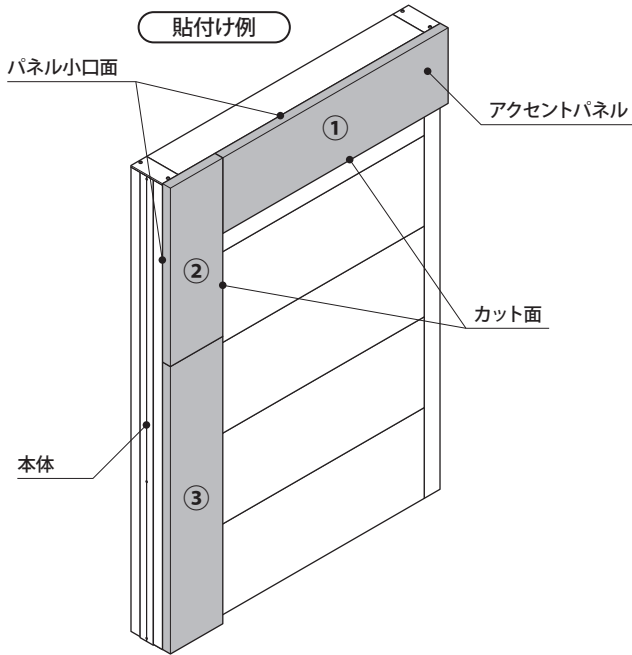
- 接着剤の塗布
くし目ごてでくし目を立ててください。

ご注意

- 接着剤が硬化する前に、アクセントパネルを貼り付けてください。(接着剤の硬化時間は接着剤の説明書を参照してください。)
- 接着剤がはみ出さないようにしてください。はみ出した場合はふき取ってください。
- アクセントパネルの貼り付け時は十分に圧着し、アクセントパネルの全体が均一に接着されるようにしてください。

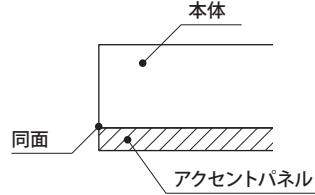
2.アクセントパネルの加工及び貼付け

②下記貼付け例を参照し、接着剤を塗布したアクセントパネルを順次本体に貼り付けてください。



ご注意

- パネル小口面は本体とアクセントパネルが同面になるように、位置合わせを必ず行ってください。(ずれると段差の原因となります。)



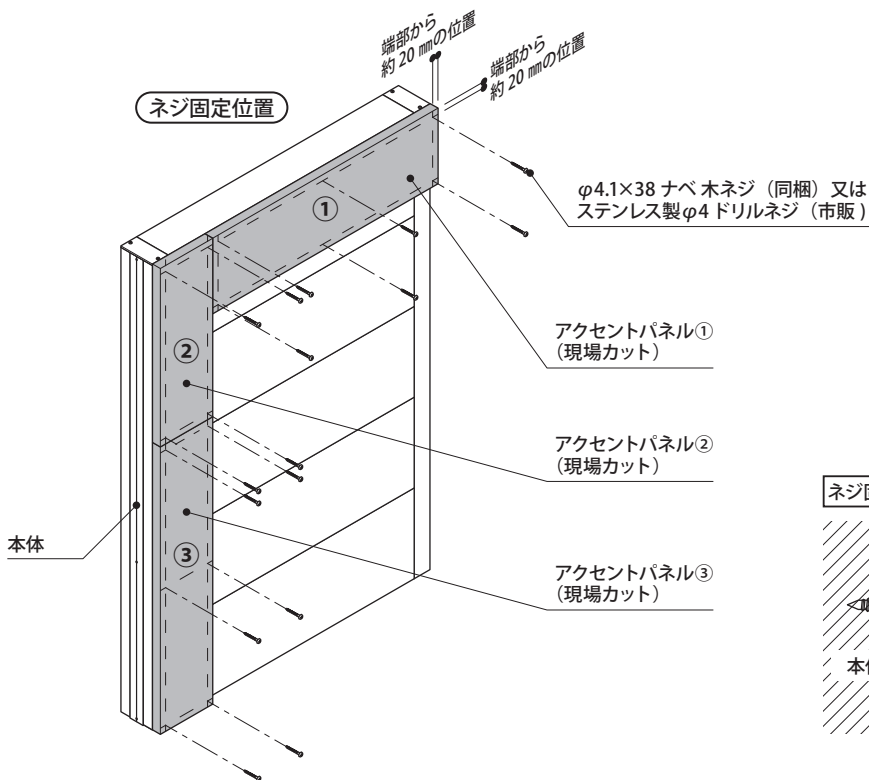
- ※アクセントパネルは隙間や段差がないように貼り付けてください。

③ネジ固定

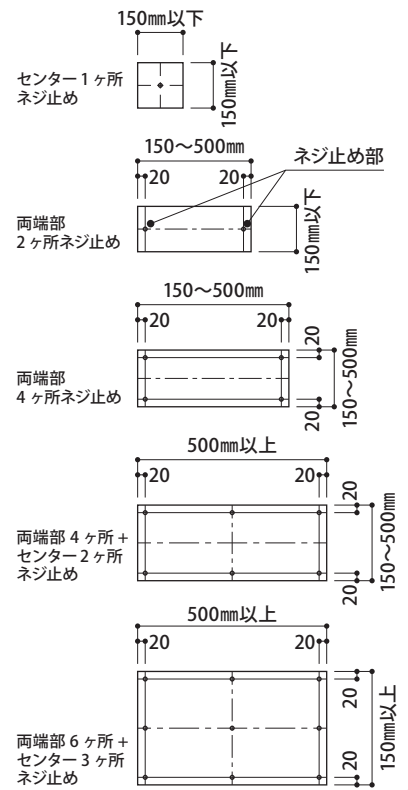
- アクセントパネル貼り付け後、接着剤が硬化する前に右図を参照し、同梱のφ4.1×38ナベ木ネジ（又は、市販のステンレス製φ4ドリルネジ）で本体に固定してください。
- ネジ頭がアクセントパネルから出ないようにねじ込み、コーキング材（変成シリコン系ノンブリードタイプ）でパテ埋めしてください。（下記参照）
- 本体とパネルが密着せず隙間がある場合、ネジを追加してください。又、ネジとネジの間隔は500mm以内にしてください。

ご注意

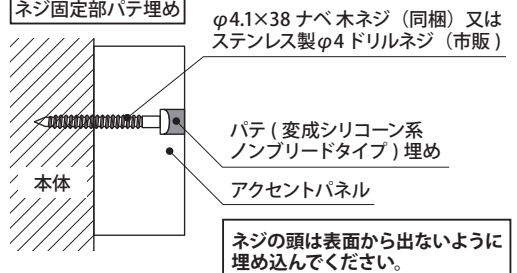
ネジ止めする場所により、アルミ柱と干渉する場合があります。アルミ柱を避けた位置にネジ止めしてください。または、市販のステンレス製φ4ドリルネジを購入し、アルミ柱にφ3.5の下孔をあけてネジ止めしてください。



パネルサイズ別ネジ止めヶ所数



ネジ固定部パテ埋め



④両面貼付けの場合は、同じように反対側に貼り付けてください。

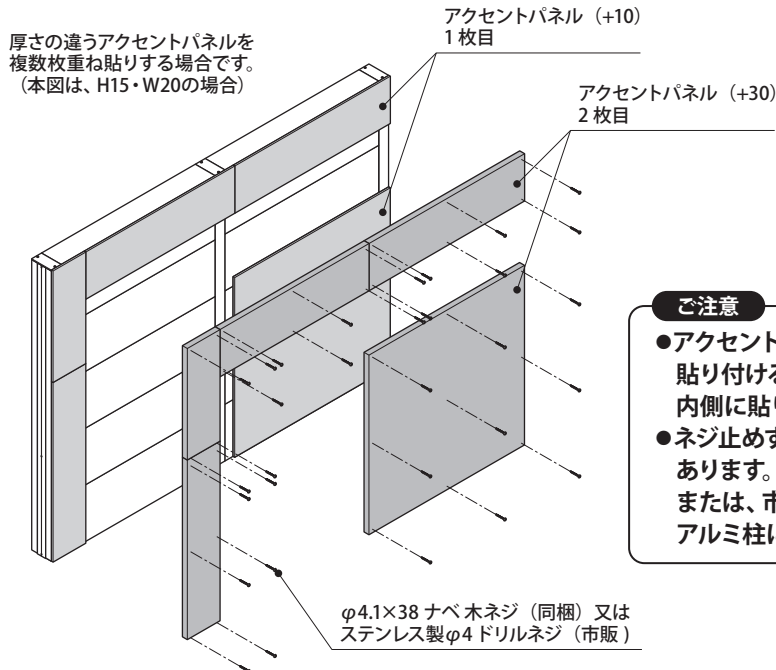
2.アクセントパネルの加工及び貼付け

3.アクセントパネルの貼付け及びネジ固定 (片面・両面複数枚貼付けの場合)

①貼り付けた1枚目のアクセントパネル (+10) の上から同様に、加工した2枚目のアクセントパネル (+30) に接着剤を塗布し、同梱のφ4.1×38ナベ木ネジ (又は、市販のステンレス製φ4ドリルネジ) で固定してください。(片面複数枚貼付けの場合)

※この場合、1枚目のアクセントパネル (+10) と同様に、上面・側面は段差ができないよう面をそろえてください。

※両面貼付けの場合は、同じように反対側に貼り付けてください。



ご注意

- アクセントパネル (+10) とアクセントパネル (+30) を貼り付ける場合、10mm厚のアクセントパネル (+10) を内側に貼り付けてください。
- ネジ止めする場所により、アルミ柱と干渉する場合があります。アルミ柱を避けた位置にネジ止めしてください。または、市販のステンレス製φ4ドリルネジを購入し、アルミ柱にφ3.5の下孔をあけてネジ止めしてください。

4.アクセントパネルの貼付け (複数枚連続して貼り付ける場合)

①複数枚連続して貼り付ける場合、下記順番にて貼り付けてください。

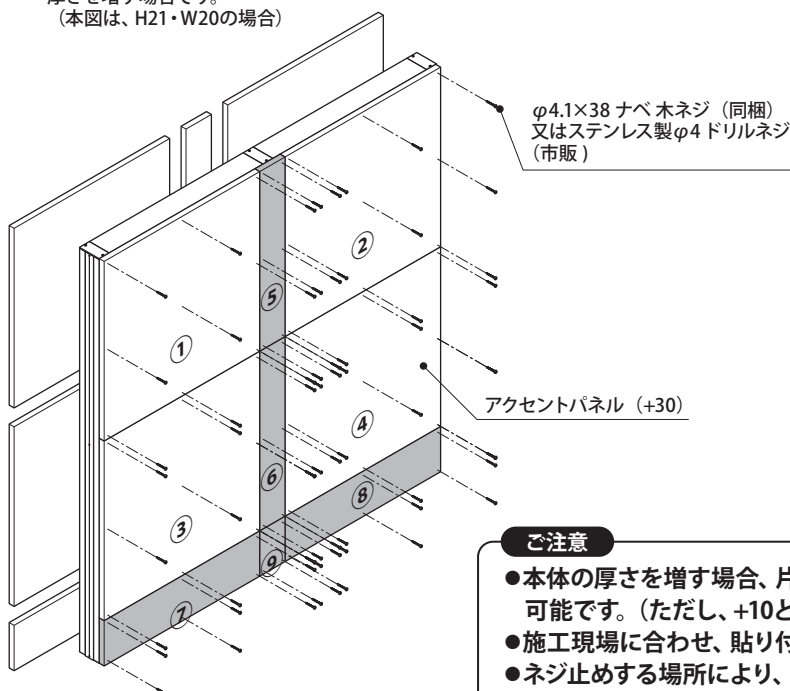
(1) 両端部上面の①②を先に本体側面、及び上面を合わせて同梱のφ4.1×38ナベ木ネジ (又は、市販のステンレス製φ4ドリルネジ) で固定してください。

(2) 同様に③④を側面に合わせて同梱のφ4.1×38ナベ木ネジ (又は、市販のステンレス製φ4ドリルネジ) で固定してください

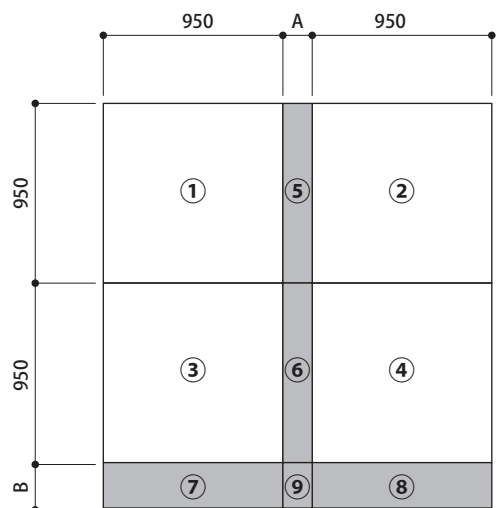
(3) 寸法Aを実測し寸法に合わせてカットし、上面を合わせて⑤を貼り付け、同様に⑥も貼り付けてください。

(4) 寸法Bを実測し寸法に合わせてカットし、側面を合わせて⑦⑧を貼り付け、⑨を寸法に合わせカットし貼り付けてください。

両面にアクセントパネルを連続して貼り付け、厚さを増す場合です。(本図は、H21・W20の場合)



アクセントパネル配置例 (H21・W20の場合)



ご注意

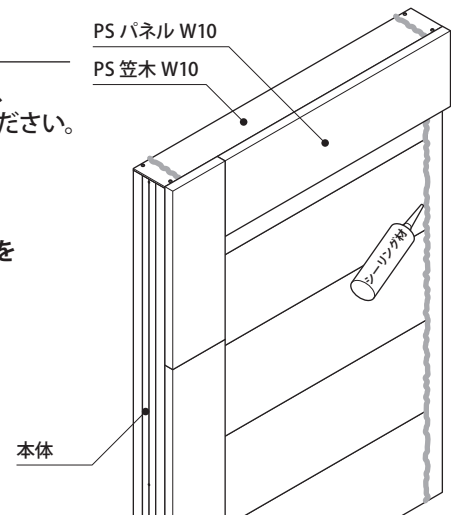
- 本体の厚さを増す場合、片面貼付け・両面貼付けどちらでも貼り付け可能です。(ただし、+10と+30で片側の合計厚み最大40mmまでです。)
- 施工現場に合わせ、貼り付け方を選んでください。
- ネジ止めする場所により、アルミ柱と干渉する場合があります。アルミ柱を避けた位置にネジ止めしてください。または、市販のステンレス製φ4ドリルネジを購入し、アルミ柱にφ3.5の下孔をあけてネジ止めしてください。

3.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

1.コーキング材の充填（縦目地）

- ①塗装仕上部分の柱とPSパネルW10・PS笠木W10の接合部の隙間（縦目地）に、コーキング材を充填してください。充填後、表面はヘラでならして平滑にしてください。現場貼り仕上がある場合は、その部分のコーキング処理は不要です。
- ※横目地とアクセントパネルの接合部に1mm以上の隙間がある場合、その個所に同様に充填してください。
 - ※コーキング材は必ず、当社規格品または変性シリコン系ノンブリードタイプを使用してください。
 - ※当社規格コーキング材は施工後、春・夏季・秋季は1日後、冬季は4日後から、いずれも7日以内を目安として次工程を施工してください。

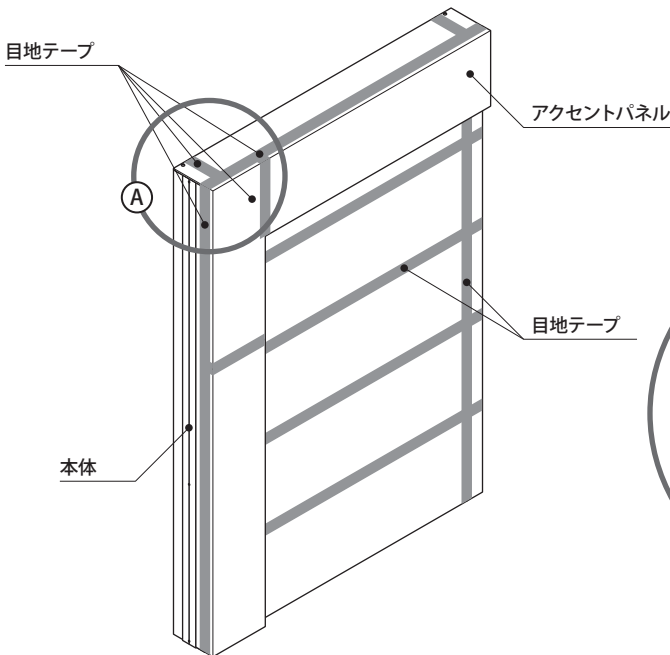
部材名	梱包名称
コーキング材セット	コーキング材（ノンブリードタイプ）



2.目地テープの貼付け

- ①本体の接合部と一緒に、アクセントパネルの接合部にも目地テープを貼り付けてください。
- 目地テープの貼り付け後は、速やか当社規格の汎用プライマーの塗布を施してください。目地テープが剥がれてくることがあります。

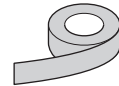
部材名	梱包名称
目地テープ	目地テープセット



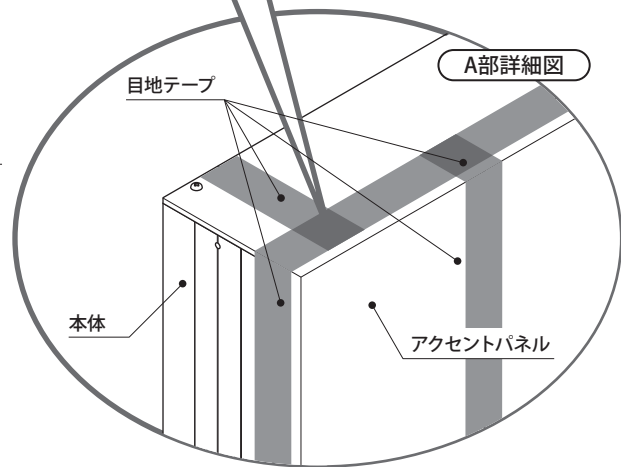
図のように目地テープを重ねて貼ってください。

目地テープ

内側に粘着剤が付いています。



A部詳細図

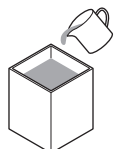


3.汎用プライマーの塗布

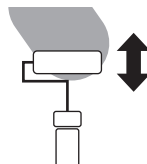
- 塗装仕上をする部分に、当社規格の汎用プライマーを塗布してください。
- ※汎用プライマー無で仕上塗装したり、当社以外のプライマーを使用すると剥離の原因になります。
- ※汎用プライマーは成分の骨材が沈殿しますので、よく攪拌してください。
- 目地テープが浮かないように注意してください。
- 十分に乾燥してから次の工程に移ってください。

汎用プライマーは骨材が大きく粘度があります。温度により塗装しづらい場合もあります。清水もしくは水道水で0~3%に希釈し、十分に攪拌してご使用ください。

1.5kgの場合は清水0~45cc
15kgの場合は清水0~0.4ℓ



汎用プライマーは擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領で厚みを持たせて、塗布してください。



部材名	梱包名称
汎用プライマー (100ml)	汎用プライマー (100ml) ・刷毛セット
刷毛	
汎用プライマー (1.5Kg)	汎用プライマーセット (1.5Kg)
汎用プライマー (15Kg)	汎用プライマーセット (15Kg)
汎用プライマー用ローラー刷毛 (6インチ)	汎用プライマー用ローラー刷毛 (1本入り)

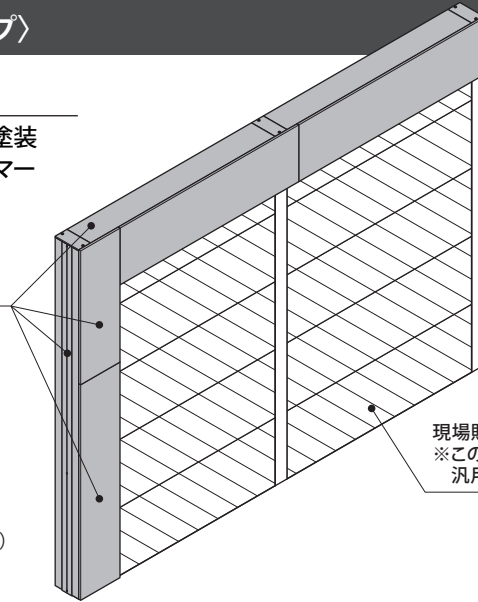
- 付属の汎用プライマー100mlで約0.2~0.3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー1.5kgで約2~3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー15kgで約20~30㎡塗布できます。
- 塗装する面積に応じて汎用プライマーセット (100ml・1.5kg・15kg) から選択してください。
- 1.5kg・15kgの汎用プライマーセットには刷毛は付属されていません。別途手配してください。

3.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

部分的に塗装仕上げをする場合

現場貼りタイプで部分的に塗装仕上げをする場合は、塗装する部分にコーキング・目地テープ・当社汎用プライマーの施工をしてください。

現場で塗装仕上げをする部分
(汎用プライマーを塗布してください。)



現場貼りタイプ部分(生地)
※この部分には、目地テープ貼付けと汎用プライマーの塗布は行いません。

(本図は、H15・W20の場合)

4.下地調整材の施工

- 当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから下地調整材を施工してください。この時、段差や隙間は埋めて平滑に仕上げてください。
- 下地調整材は当社推奨品または、日本建築学会規格(JASS15M-102)既調合軽量セメントモルタル適合品を用いてください。既調合軽量セメントモルタルを用いる場合は、塗厚5~10mm程度で仕上げてください。

■下地調整材 [当社推奨品]

四国化成工業社 SKカチオンプラスター弾性タイプ

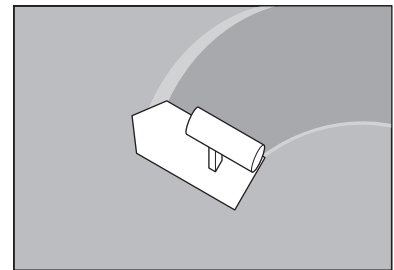
- 養生期間は、1~2日程度必要です。標準塗厚は1~2mmです。
- SKカチオンプラスター弾性タイプ1袋(20kg)で10~20㎡施工できます。

※当社汎用プライマーの上に、各軽量セメントメーカーのシーラー・吸水調整材を塗布することは避けてください。

※下地調整材の上に、重量タイル等の貼り付けは避けてください。

※軽量セメントモルタル仕上げの場合、P.7「3-5.仕上げ塗材の施工」はありません。

部材名	梱包名称
SKカチオンプラスター弾性タイプ(20kg)	SKカチオンプラスター弾性タイプ



ご注意

下地調整材は、各メーカーの施工要領を守って施工してください。

5.仕上げ塗材の施工

- 仕上げ塗材を施工してください。塗材は当社推奨品を使用してください。下地調整材に軽量セメントモルタルを用いる場合、仕上げ塗材の前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。
- PSパネルは断熱性が高いため、塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避ける等、高温にならないための養生を施して塗装をおこなってください。

■仕上げ塗材 [当社推奨品]

アイカ工業 ジョリパットアルファ (JP-100)

ご注意

仕上げ塗材は、各メーカーの施工要領を守って施工してください。

4.現場貼り仕上げ手順〈現場貼りタイプ〉

現場貼りタイプの場合、下記を参照して貼り付けてください。

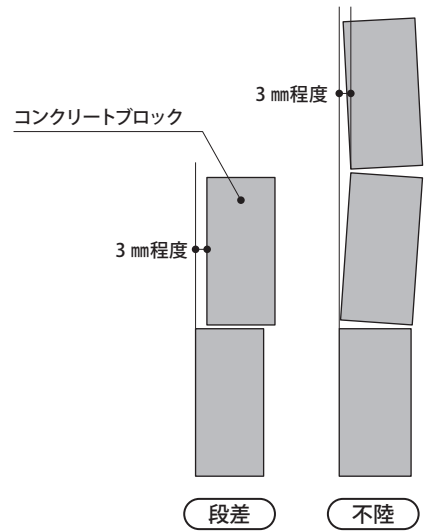
- 生地部材に接着剤で貼り付けてください。汎用プライマー・目地テープは必要ありません。
- 接着剤は全面接着で貼り付けてください。
- 貼り重量は端部柱同梱の本体取説記載の制限荷重に従ってください。
- 接着剤は当社規格品「貼り物用接着剤」または当社推奨品を使用し、くし目ごてを用いて全面に塗布してください。
[当社規格品] 貼り物用接着剤セット
[当社推奨品] セメダイン社 タイルエースPro/ニッタイ工業社 EY-21/コニシ社 エフレックス
- 石材・タイル・ボード類の貼付け方法は、それぞれの商品の取付説明書を参照してください。
- 接着剤が硬化する前に張り付けてください。接着剤の塗布量・硬化時間は接着剤の取付説明書を参照してください。

5.コンクリートブロックに貼り付ける場合の施工

1.アクセントパネル貼付け前の注意事項

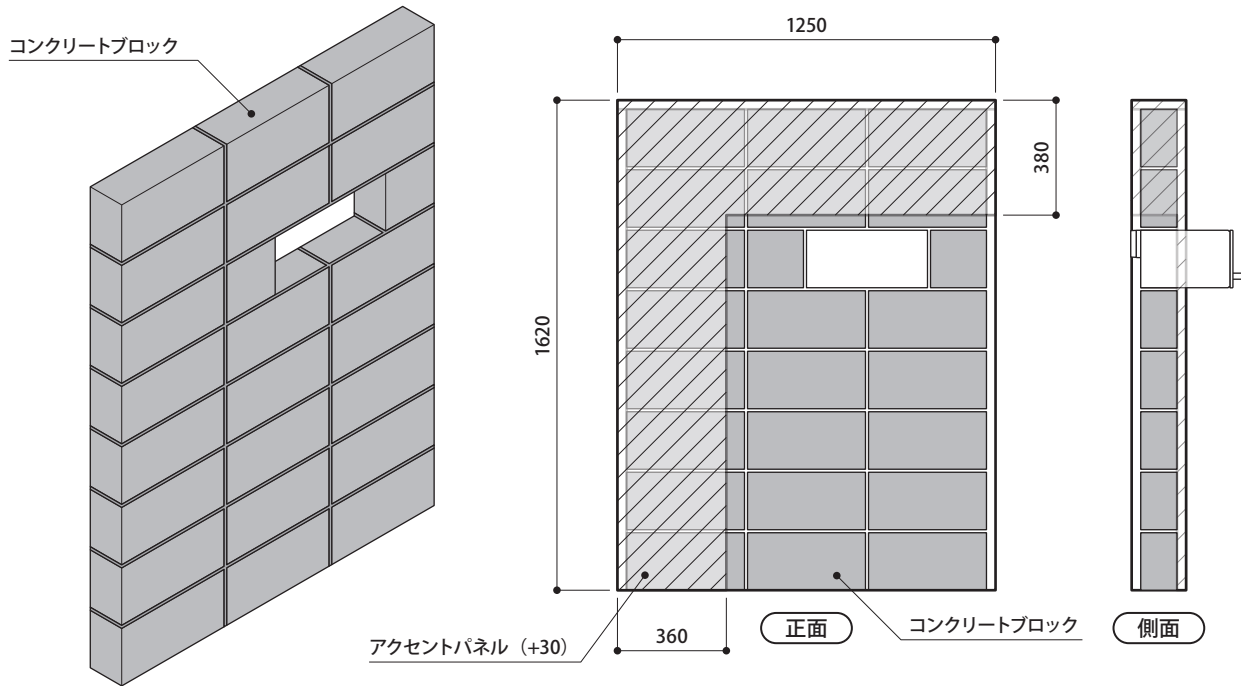
※コンクリートブロックへの貼付けには、アクセントパネル(+30)を使用してください。

- コンクリートブロック面の段差・不陸等は3mm程度までとしてください。
- 施工面は平滑で汚れや油分・ごみの付着物が無いようにしてください。
- 付着しているゴミ・土砂・油分・レタンス・モルタルや骨材等の突起物は、スクレーパー・金属ブラシ・グラインダー等で除去し、ブラシや洗浄機で清掃してください。
- コンクリートブロックがしっかり乾燥してから、アクセントパネルの施工を行ってください。

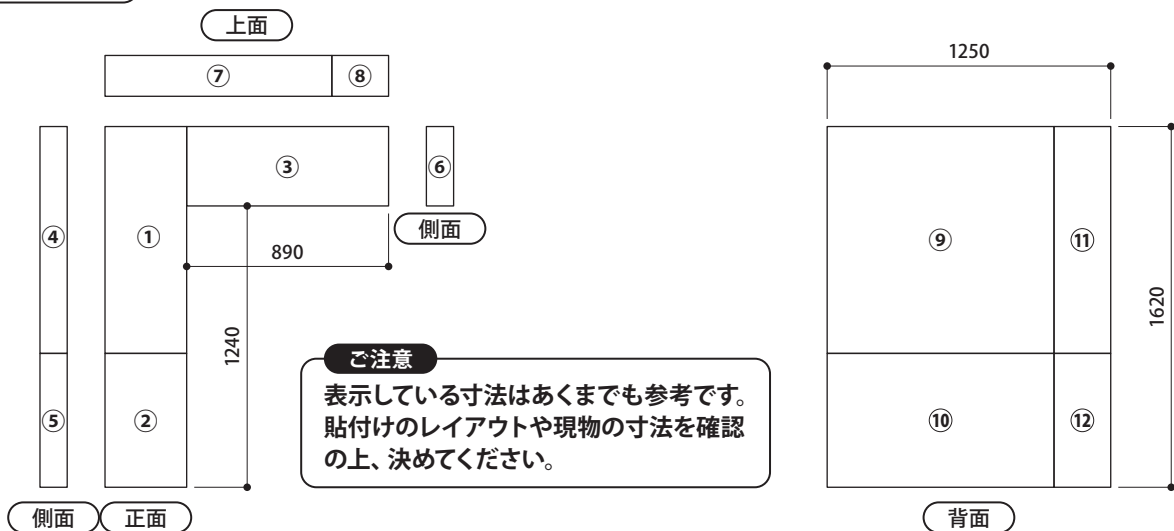


2.アクセントパネルの加工 (参考例)

- 下図はコンクリートブロック3列×8段積み、アクセントパネルを取り付ける場合の参考例を表示しています。
- ※参考例をもとに、実際のレイアウトに合わせて調整してください。

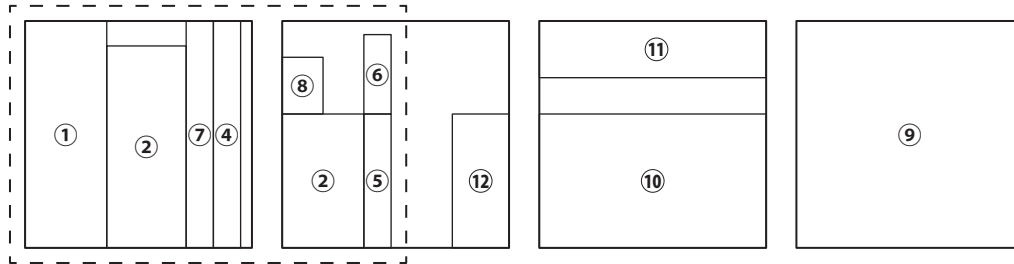


貼付け要領図



5.コンクリートブロックに貼り付ける場合の施工

アクセントパネルのカット要領図



- 上の図はアクセントパネルのカット要領図を表示しています。必要数は4枚です。
[二]は前面・両側面・上面の貼付け部分です。
背面の貼付けが不要ならば必要数は2枚になります。
- カット要領図はあくまでも参考としてください。

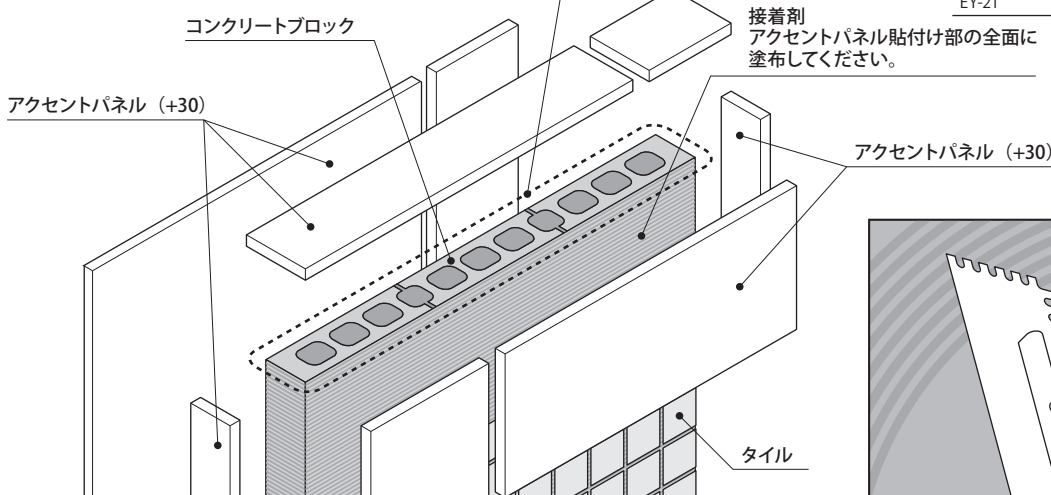
ご注意

ブロックの大きさやタイルの貼付け面積により必要数は変動します。

3.カット後のアクセントパネルの貼付け方法

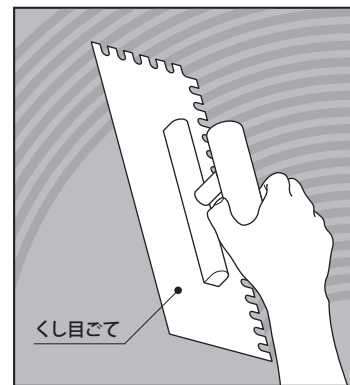
- 接着は乾式接着剤張り工法です。接着剤の施工要領書を確認し、使用上の指示に従って、接着剤を塗布してください。
- コンクリートブロック面へアクセントパネルを貼り付ける際は、貼付け面のほぼ全体に接着剤を塗布してください。

上面にアクセントパネルを貼り付ける場合、コンクリートブロックの開口部はモルタルで埋めてください。



部材名	梱包名称
貼り物用接着剤	貼り物用接着剤セット
■接着剤の推奨品	
商品名	会社名
タイルエースPRO	セメダイン
エフレックス	コニシ
EY-21	ニッタイ

- アクセントパネルの貼り付け時は十分に圧着し、アクセントパネルの全体が均一に接着されるようにしてください。接着時にパネルがずれる場合などは市販のコンクリートネジ (SUSもしくは高耐腐食性能メッキ品) を購入して仮固定してください。ネジ位置はP.4・5を参照してください。
- アクセントパネの接合部に目地テープを貼り、塗装仕上をする部分に当社規格の汎用プライマーを塗布してください。(P.6・7参照)
コンクリートブロック部に汎用プライマーは必要ありません。
- 汎用プライマー乾燥後、下地調整材・仕上げ塗材を施工してください (P.7参照)



- 接着剤の塗布
くし目こてでくし目を立ててください。コンクリートブロックの面 (不陸状態) の状態に合わせ、くし目の大きさを調整してください。(くし目3・5・7mm)

取扱い店名